

大崎市民生部子ども保育課
令和3年10月19日保護者説明用資料

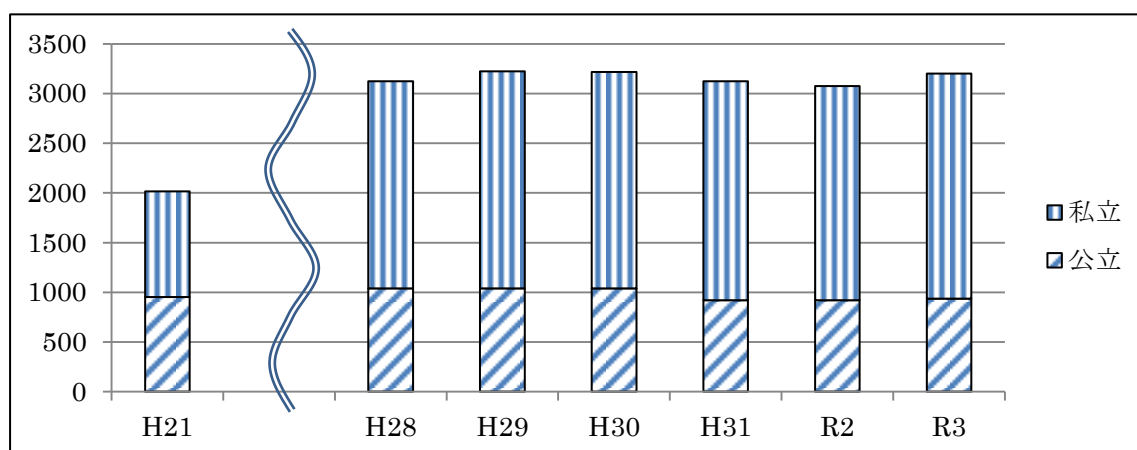
岩出山保育所真山分園の本園への統合について

1 統合の理由

市の進める行政改革（民間でできることは民間で）の推進及び施設利用者の減少等の状況をふまえて統合するもの。

2 市内の保育民営化の現状

＜市内保育施設の入所定員数＞



	H21	H28	H29	H30	H31	R2	R3
公立 (人)	950	1040	1040	1040	920	920	935
私立 (人)	1065	2082	2181	2176	2201	2155	2265
私立割合 (%)	52.8	66.7	67.7	67.7	70.5	70.1	70.8

大崎市では、待機児童の解消を目指しながら保育の民営化を図るため、主に民間保育施設を整備しつつ公立保育施設を統廃合する手法により民営化を推進してきました。

市が保育所民営化に関する基本方針を定めた平成21年度における市内保育施設の定員は合計で2,015人、私立の占める割合は約53パーセントでしたが、令和3年度においては70パーセントを超えるまで高まっています。

直近の5年間でも、2つの施設を閉所するなどして公立の定員を105名減らす一方、私立の定員は4施設の新設等により183名増加しました。民営化が約4パーセント進展したことになります。

3 岩出山地域の現状

岩出山地域における保育の民営化について、市では、地域内に民間保育施設の設置を促し、民間施設が設置された場合には公立施設の定員縮小、分園の統合により民間施設の経営をバックアップしたいと考えました。

この考えに基づいて平成31年3月末に池月保育所を閉所しました。しかし、その後に予定していた真山分園の岩出山保育所への統合については、令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化が保育需要に与える影響を見極めるため、延期しました。

<経過（概略）>

	項目	概要
平成28年3月	公立保育施設民営化計画策定	令和3年3月での閉所を予定
7月	保護者説明会開催	民営化計画、閉所予定のご説明
平成31年3月	池月保育所閉所	民営化計画どおり閉所
4月	地域内に民間保育施設設置	保育所部門の定員75名
令和元年10月	幼児教育・保育無償化実施	入所申込者の増加
令和2年度	統合を延期	
令和3年度	統合時期の再検討	

実際には、令和元年度に創設された民間保育施設（認定こども園）も含めて合計200名の入所定員が確保されていたこともあり、岩出山地域では無償化以降も入所希望者数が定員を上回る状況にはなりませんでした。このため、改めて真山分園の統合時期について検討を始めたところです。

<地域内所在施設及び年度当初入所児童数>

年度 施設（定員）	H30	H31 (R1)	R2	R3
岩出山保育所（100）	96	89	80	72
真山分園（25）	26	22	16	10
池月保育所（30）	16	—	—	—
民間保育施設（75）	—	72	77	78
計	138	183	173	160

4 真山分園の現状

真山分園の入園児童数は減少傾向にあり、令和4年度当初の在籍児童数が現在の10名を下回る可能性もあります。

乳幼児は月齢、年齢に応じて生活に必要な様々な能力を獲得していきます。特に3歳以上の児童は活動の範囲も広がり、集団の中で育つことが非常に大きな意味を持ちます。真山分

園では入所児童数の減少により集団を形成することが困難になりつつあり、子どもの育ちを支援する意味から早期の本園への統合が望ましいと市では考えています。

<真山分園の年齢別入所児童数>

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H 3 1. 4. 1	0	2	4	4	6	6	22
R 2. 4. 1	0	1	2	3	4	6	16
R 3. 4. 1	0	2	2	1	2	3	10
R 4. 4. 1 (見込)	0		2	2	1	2	

5 集団

「保育所保育指針」では、「3歳以上児の保育に関するねらい及び内容」として次のとおり示しています。

(1) 基本的事項

ア この時期においては、運動機能の発達により、基本的な動作が一通りできるようになるとともに・・・(中略)・・・知的興味や関心も高まってくる。仲間と遊び、仲間の中の一人という自覚が生じ、集団的な遊びや協同的な活動も見られるようになる。これらの発達の特徴を踏まえて、この時期の保育においては、個の成長と集団としての活動の充実が図られるようにしなければならない。

「集団」について、どのくらいの規模が望ましいのかについては、様々な考えがあります。例えば、公益社団法人全国幼児教育研究会では文部科学省からの委託研究の中で「3歳児は20人以下、4・5歳児は20人以上」が望ましいなどとしています。市内の保育施設においても、1年齢で20人以上の規模となるクラスは多くありません。

しかし、チームを分けて活動したり、声や力を合わせたりすることが子どもの育ちの中で大きな役割を持つことは確かであり、それには一定の規模の集団が必要であることは、保育の現場においても強く感じているところです。

6 統合の時期の設定等に関するご意見

これまで説明会やアンケートを実施する中で、次のようなご意見をいただいています。

- ・ 利用者に混乱が生じないように前もって統合時期を示すべき。
- ・ 最後の一人が卒園するまで続けてほしい。
- ・ 統合時に岩出山保育所に優先的に入所できるようにしてほしい。

7 市の考える統合の時期

令和5年度末（令和6年3月末）

8 統合までの取組

統合時に在籍している園児，保護者に不利益が生じないよう次のような取組を行います。

- ・ 最終年度まで新規入所を受け入れることで，分園における異年齢児間の交流機会の確保に努めます。
- ・ 統合後の転籍先として岩出山保育所に受入枠を確保します。アンケートで希望の多かった認定いわでやまこども園に対しても，希望者の受け入れについて協議を申し入れます。
- ・ 岩出山保育所と行事を合同開催するなどし，統合後の施設規模の違いへの戸惑いを最小限に抑えられるよう努めます。